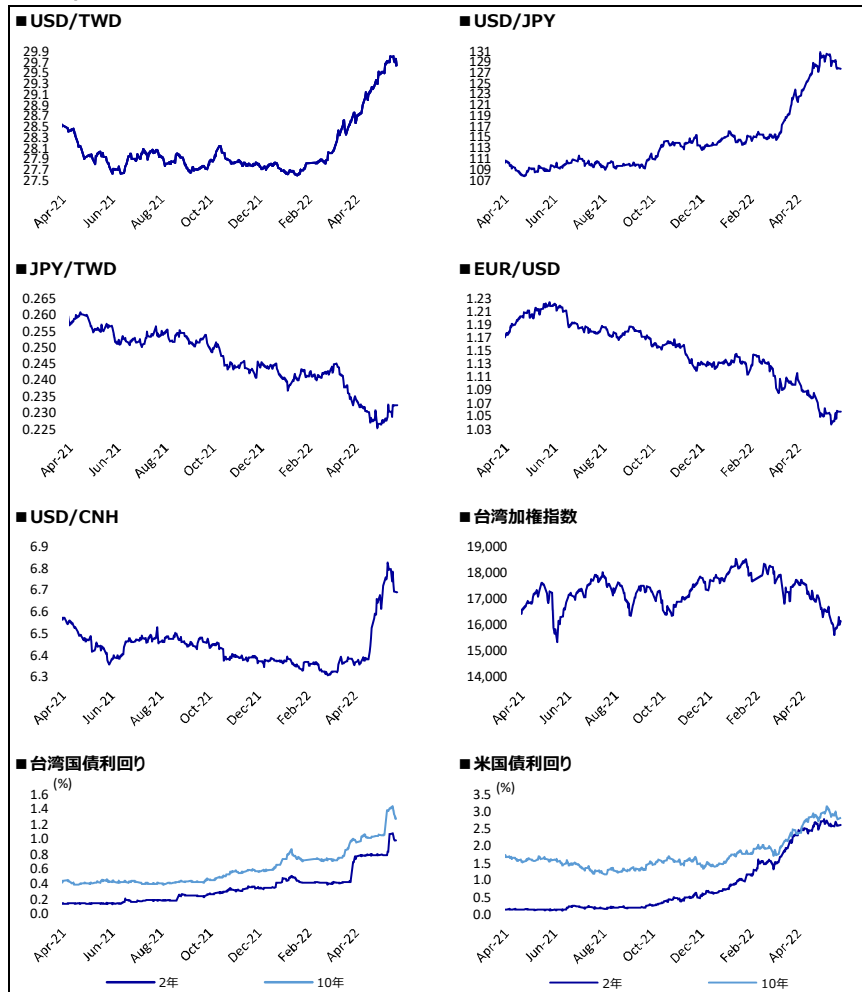


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルは下落。週初5/16は29.840でオープン後、上海のロックダウンが解除の方向になる見通しから台湾株が買われるとドル台湾ドルは29.76付近まで下落したが、中国の4月の鉱工業生産、小売売上高がともに予想を下回ると台湾株が上げ幅を縮小させ、ドル台湾ドルも戻す展開となった。5/17も台湾株が反発する中、ドル台湾ドルは29.70近くまで下落したものの、輸入企業のドル買いも入り、底値は堅かった。5/18はアジア株が総じて反発する中、29.66付近まで下落したが、国内外の投資家の送金フローも入り29.70付近での推移となった。5/19は前日の米株の大幅下落を受けて台湾株も急落するとドル台湾ドルも上昇したが、29.80手前では上値が重く、輸出企業のドル売りも入り、29.76付近まで戻した。5/20は台湾株が堅調に推移したこともあり、台湾ドル買いが優勢となり、一時29.632まで下落。最終的に先週比0.5%ドル安台湾ドル高の29.655で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は21.8億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は下落。週初5/16は129.15でオープン後、中国の4月鉱工業生産、小売売上高がともに予想を下回るとリスク回避の動きから円買いが入り128円台後半まで下落。その後は米金利の上昇につられて129円台前半はまで上昇したが、米5月NY連銀製造業景気指数が予想を大きく下回ると129円台前半に戻した。5/17は前日の流れから128円台後半に下落したが、上海でのロックダウン解除への機会が高まりリスク回避の動きが後退し、129円台に戻した。その後も米4月小売売上高、米4月鉱工業生産と好調な経済指標の結果を受け、129.78まで上昇。5/18は特段材料のない中、128円後半から129円前半のレンジで推移していたが、米4月住宅着工件数が予想を下回ったことや、米小売大手が弱い決算を発表し、インフレに伴うコスト増加による企業業績の悪化を警戒し、米株が急落。米金利もつられて低下する中、ドル円も128円付近まで下落。5/19は前日の米株安を受け日経平均も急落したが、下げ幅を縮小させるとドル円は128円台後半まで戻した。しかし、米金利が低下したことやフィラデルフィア連銀景況指数が予想を下回ると一時127.03まで下落したが、その後は127円台後半まで戻した。5/20は米金利の動きにつられ127円台後半から128円台前半のレンジ相場が続く、最終的に先週比1.0%ドル安円高の127.92で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：29.550-29.800
リスクオフの動きから米長期金利の上昇も一服しているが、今週については月末も近くなり輸出企業のドル売りも想定されることから台湾ドルが買われやすいと見込む。

■ USD/JPY 予想レンジ：126.00-129.50
先週は景気後退への懸念からリスク回避の動きが強まり円が買い戻された。今週についても米経済指標をみながらの動向となるであろう。また、FOMC議事録の発表も控えており、タカ派な内容ではドルが買われやすくなるため、気を付けたい。

今週の予定

5/23 (MON)	台湾4月失業率
5/24 (TUE)	米4月新築住宅販売件数
5/25 (WED)	米4月耐久財受注、FOMC議事録
5/26 (THU)	米Q1GDP改定値
5/27 (FRI)	台湾Q1GDP改定値、米4月個人消費支出

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。